

宮崎県中学校剣道競技大会 申し合わせ事項

本大会は（財）全日本剣道連盟の剣道試合・審判規則、剣道試合・審判細則及び、（財）日本中体連剣道競技申し合わせ事項、九州中体連剣道競技申し合わせ事項、宮崎県中体連剣道競技申し合わせ事項により実施する。

【試合・審判に関わる事項】

- 1 突き技は禁止，反則とする。
- 2 二刀及び上段は認めない。ただし隻腕のものについての上段は，監督会議の中で協議し決定する。
- 3 片手打ちは有効打突としない。
- 4 疑義のある場合は，当該者の試合終了までに，監督が審判主任もしくは，審判長に異議を申し立てることができる。但しコーチによる異議申し立てはできないが，同校生徒の試合が2試合場以上で同時に行われ，監督不在になった場合のみ認める。
- 5 面金を黒塗りにした面など，通常の配色でない面の使用を禁止する。ただし，日常の稽古や練習試合での使用については，特に制限を設けない。
- 6 試合場への時計・携帯電話の持ち込み（監督・コーチも含む）及び監督・コーチからのサイン（拍手を含む）などによる指示は禁止する。
- 7 足袋・サポーター・テーピングは原則として使用しない。但し，医療上やむを得ず使用する場合は認めるが，剣道用で底が布製品で，見苦しくなく，かつ相手に危害を加えない範囲とする。足袋・サポーター・テーピングの使用については各試合場審判主任の許可を得ること。この届け出は当日のみ有効とする。
届け出がないまま足袋・サポーター・テーピングを使用した場合は，はずさせる。
- 8 中央の大垂に，紺または黒の布地に白地で学校名（・・・中）と姓を明記した名札を着用する。（同姓がいる場合は，名前の頭文字を明記する。）また，袴・剣道着に道場名等の記入は禁止とする。
- 9 「変形な構え等の防御態勢」をとった場合は，1回目は「合議」の上，「指導」，2回目以降は「合議」の上，「反則」とする。
- 10 団体戦において，選手がオーダー順を誤って試合を行った場合，その試合は無効となり，対戦相手の2本勝ちとなる。その後の試合については正しいオーダー位置に戻して試合を行わせる。但し，試合終了後に異議を申し立てることはできない。
- 11 声を出しての応援等は禁止とする。

【試合運営に関わる事項】

- 1 個人戦に限り付き添いを一人認める。但し付き添いの服装は剣道着，袴とし，選手席には入れない。
- 2 華美への配慮
 - ①校名・校章等の刺繍（剣道着・袴）は，大きさ，色含めて華美にならないように配慮する。
 - ②面乳革は，大きさ，色，模様を含めて華美にならないように配慮し，色は黒色または紺色とする。
 - ③柄革は，滑り止め（ゴム等）や模様等のない無地のもので白色とする。